連載小説第三十四回

兵庫の女

武田繁太郎
え・松岡寛一

★あらすじ　まつをは十五才で広島の生家を出て鐘紡の女工になり、同じ職場の安福利市と結婚。共稼ぎで苦労したすえ、呉服屋かたち屋を開いた。結婚後二十年やっと子宝に恵まれた。利市は「南栄商店連合会会長」に選ばれたが、多忙な身は病を起こし、翌年三月他界した。亡夫の一周忌をすますと、まつをは大活躍をはじめるが、ふと口にした酒の味が忘れられなくなる。昭和六年の正月、まつをは高血圧で倒れた。奇蹟的によみがえったが、彼女の左半身は完全に不随になっていた。御崎の店は人に貸し、まつを自身は山手の北野町に移って貨屋業をはじめた。

昭和六年、軍需景気を見越して、まつをは貸屋業で得た金を軍需産業に投、融資し成功する。良治も大阪の高等学校に入った。

良治は、高等学校にはいると、そのころの高校生のだれもがそうであったように、きゅうに大人ぶって、酒と煙草の味をおぼえるようになっていた。

煙草は人並みに吸えた。彼はそのころ人気のあったゴールデン・バット党であった。だが、酒のほうは、酒豪だった母親の跡は継げず、からきし駄目だった。

高校生仲間と、白線帽にマントをひっかけ、朴歯の下駄を鳴らしながら、肩を組んで呑み屋の暖簾をくぐっても、良治は、一、二合も呑むと、色白い顔を真赤にしてもう荒っぽい息をつきだした。そんなところまで、彼は父親ゆずりだといえた。

そのころ、まつをのふた従兄弟で、西本願寺派の布教師をしていた後藤秀観という男が、明石の在の無住の寺に住職として迎えられていた。

後藤は、若いころ、神戸に布教にくると、利市夫妻にずいぶんと世話になっていた。その恩義から、彼は、毎年利市の祥月命日がくると、自分の寺で利市の供養を営んでいた。

ちょうど良治が高等学校の二年を終えて、春休みになったとき、彼はその年の父の祥月命日に、明石の寺に招

かれていった。
良治は、呑めもせぬ供養の酒に酔い、夜になって北野の自宅に帰ってきた。
その日は、まつをもおたかを連れて、北野にきていたいつもの良治なら、母に挨拶もせずに自分の部屋へひきあげていくのだが、その夜にかぎり、なにを思ったのか彼は、玄関からよろめくようにして、母の居間の襖をあけた。
「ただいま」
良治は、ひとこと声をかけると、白線帽をあみだにかぶったまま、ごろりと母のまえに寝ころがってしまった。
まつをは、蒲団のうえに坐って、おたかに肩をもませていた。だが、良治は、母の顔をみようともせず、熱っぽい息をはずませながら、
「お母さん」
と、突っかかるように母の名を呼んだ。
「なんや？」
まつをは、ちょっと眉をひそめるようにして、息子の寝姿をみおろした。
「おれはな、今夜、ぜひお母さんにききたいことがあるんや。まえまえから、お母さんの本心をききたいと思うてたんや」
「酔っぱらって、なにを言いだすのかと思うたら、この子は――」
まつをは、おうような笑顔にかえって言った。
「いや。おれは酔ったから言うんやないんや。お母さんお母さんはそんな身体になっていながら、なんでまだそれほど金儲けに浮身をやつさんならんのや？」
「藪から棒に、なにを言うんや」
「藪から棒やない。おれは、ずっとまえから、お母さんのすることをみてたんや。いままでは、ただ黙ってみてたけど、今夜は、はっきりと言わしてもらう。お母さんの一生は、ただ金儲けることにあったんか。お母さんはそんなにカネがほしいんか」
良治は、ながいあいだ胸にうっ積していた思いを吐きだすように言った。
おたかが、まつをの背後から、あわてて言葉をはさんだ。
「ぼんぼん。なにをまたそんな勿体ないこと言うとってのですい？　お母はんが一生懸命お金儲けに精だしていなさるのも、みんな、かわいいぼんのためやありまへんか。そんなこと言うてやったら、ほんまに罰があたりまっせ」
「ふむ。かわいい息子のためか。その息子のためやったら、おれは、カネなんぞ、一銭もいらん」
「良治」
まつをは、おだやかな声で言った。
「おまえはな、まだいっぺんも貧乏したことがないさかい、そんなことを言うて、おカネのありがた味がわからんのや」
「そらわからん。カネのありがた味など、わからん。けど、お母さん、おれは、人間にとって、カネよりも、もっとありがたいもんの味は、知ってる」
「良治。おまえはそんな太平楽なこと言うてるけど、お母はんがこんな病気になっても、おまえと母子ふたりでなんとか暮してゆけるちゅうのも、お母はんらが若いときから、夜の目も寝んと働きとおして、おカネを残してきたからこそやないか。そうやなかったら、いまごろはふたりして乞食しとらんならんわ」
「それは、よう知ってる。おれは、今日、明石で、お母さんらの昔話をいろいろきかされてきた。お母さんらが鐘紡につとめてるとき、毎日、弁当の菜に、紅生姜ばっかり持っていった、という話も、おれは、はじめてきいた。それで、お父さんの仲間の口のわるい連中が、おまえとこの裏庭には金魚池があるんか、毎日、金魚の刺身ばっかり弁当に持ってくるやないか、などと馬鹿にした言う話もな。たしかに、だれにも、ちょっと真似のでけんことや」

「そうや。その話で思いだしたけどな、良治。あのときお父さんの弁当のおかずを笑おてた藤田ちゅうじいさんみてみ。職工風情のくせして、贅沢なもんばっかり食べてた。嫁はんは嫁はんで、お喋りで、てんやもん喰いで朝から晩まで、子供の尻撫でながら、社宅中をあそびまわってたわ。そら、人間、食べたいもん食べ、寝たいときに寝て、それで金儲けでけるんやったら、苦労するもんはあるかいな。な、それが証拠に、あの藤田はん、罰あたって、鐘紡やめてからも、喰うや喰わずで、七十の坂を越したいまでも、一銭のカネもよう残さんと、あの八幡さんの裏で、水洟たらしながら、子供相手の一銭菓子売って暮してるやないか」

「いや。そら、ちがう。罰やない」

良治は、はじかれたように身を起した。

「その藤田いうじいさんが、いまでも、そんなみじめな生活をせんならんのは、なにも、そのじいさんひとりの罪やない。定年までつとめても、ろくな退職金もだしてやらなんだ会社にも罪があるんや。人間には才能のあるもんも、ないもんもある。才能のあるもんだけが出世して、才能のないもんはぽう切れみたいに捨ててもええいうのんか。世の中はそんなに冷酷なもんか。それでええんか。おれは、ええとは思わん。そんな世の中はまちごうとると思う。世の中がわるいんや。いっぽうでは、お母さんらみたいに、左うちわで暮せる人間をつくっておきながら、片いっぽうでは、そんな貧乏人をうじゃうじゃ残してる、この日本そのものがわるいんや。お母さんらがカネ儲けでけたのも、みんな、そんな貧乏人を踏み台にしたからやないか。お母さんらは、日本ちゅう国の時流にうまいこと乗った人間や。支那と戦争して儲けてるのは、軍人と、お母さんらのような軍需関係のもんばっかりやないか。お母さん。お母さんは、そんなに、カネ、ほしいんか」

「良治！」

まつをは、ふいに、ぶるぶると総毛だつように、声を

ふるわして言った。

「おまえ、なんぞけったいな本でも護んでるのとちがうか。お母はんはな、おまえを学校へあげたのは、そんなアカの本を勉強さすためやなかった。そんなもん、お母はんは承知せん。絶対に許さん。良治！」

まつをは、ぎらぎらと目をひからせながら、良治をみすえて言った。

「良治。ええか。ようきくんや。あのアカのやつらはな苦労して働けば、なんぼでもカネを儲けられるこの日本に生れてきたくせに、その苦労もせんと、理屈ばっかしこねて、ただ、ぬく袖で、カネ持ってるもんから財産をかすめとろうちゅう、まるで、犬畜生みたいにあつかましい連中や。そんなもんの理屈がとおったら、お母はんらみたいに、たとえ一厘のカネでも、汗水たらして儲けてきたもんが泣くわいな。良治。お母はんわな、おまえがどんな人間になっても、文句は言わん。けど、アカだけは、もしおまえがかぶれるようになったら、お母はんは、おまえを警察につきだしてみせる。そうなったら、もう親でもない、子でもないわ。良治、よう肝に銘じておくんや」

「アカか」

良治は、自嘲するように言った。

「お母さん。その心配だけはいらん。なんぼかぶれとっても、もう時代が許さん。おれも、もう十年早よう生れとったら、あるいは、お母さんの毛ぎらいするそのアカに染まっとったかも知れん。そして、お母さんが世間に顔むけでけんような息子になっとったかも知れん。いやたとえ十年まえに、いまのおれの年になってても、おれみたいなウジウジした、中途半端なプチブル根性の人間は、やっぱり、アカなんぞにはなれなんだやろ。ちょうど死んだあのおやじのようにな。——お母さん」

良治は、はじめて母の顔を真向からみつめて言った。

「おれは、今日、明石で、おやじの昔話もきかされた。おれは、おやじの若いころのことは、なにも知らん。けど、寺で、昔話をきいているうちに、おれは、なんやしらん、おやじちゅう人間のほんまの姿が、痛いほどようわかってきたような気がした。世間では、かたぢ屋は、お母さんひとりで持っていた、言うて噂していたそうやな。お母さんが男みたいにしっかりしたひとやいうことは、そんな噂をきかんでも、このおれ自身がよう知ってる。けどな、お母さん」

良治は、たたみかけるように言った。（つづく）

★神戸の催物ごあんない★

＜音楽＞

▶「袈裟と盛遠」（明治百年記念文部省創作オペラ）
12月3日（火） PM6：30 出演／砂原美智子 五十嵐喜芳 高橋修一（以上二期会）石井歓（藤原合唱団）ほか 指揮／若杉弘 演奏／京都市交響楽団 入場料 ¥1200 ¥800 ¥500 於神戸国際会館

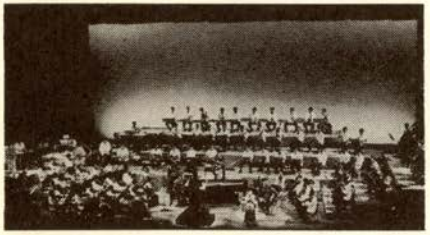
▶渡辺暁雄による「第九シンフォニー」
12月9日（月） PM7：00 指揮／渡辺暁雄 演奏／大阪フィルハーモニー交響楽団 合唱／コーラス 民音12月例会 会費 ¥550 於神戸国際会館

▶ジャズ・パーティ
12月15日（日） PM4：00〜8：00 企画／末広光夫 O.D.J.C. 於ラジオ関西CRホール

▶スィングル・シィンガーズ神戸公演
12月16日（月） PM7：00 民音例会 会費 ¥700 於神戸国際会館

▶ミシエル・デポストと京都市交響楽団
12月17日（火） PM6：30 フリュート独奏／ミシエル・デポスト 曲目／モーツアルト 歌劇「後宮からの誘拐」序曲 チャイコフスキー 交響曲第6番「悲愴」ほか 労音12月例会 会費 ¥750 於神戸国際会館

▶クリスマス・ポップスコンサート
12月19日（木） PM6：30 出演／外山雄三と京響 真木利一ピアノカルテット 早坂紘子（唄） 労音12月例会 会費 ¥650 於神戸国際会館



▶「ベートーベン 第九」（兵庫県芸術祭）
12月21日（土） PM6：30 指揮／外山雄三 演奏／京都市交響楽団 合唱／神戸土曜会 神戸女学院大学コーラス部 三菱重工男声合唱団 独唱／中沢桂 石光幸子 丹羽勝海 大橋国一 入場料 ¥1000 ¥800 ¥500 於神戸国際会館

＜演劇＞

▶「コーカサスの白墨の輪」（俳優座公演）
12月13・14日（金・土） PM6：15 12月15日（日） PM1：30 原作／ベルトルト・ブレヒト 訳・演出／千田是也 音楽／林光 出演／三島雅夫 横森久 神山寛 山崎直衛 内田透 佐伯赫哉 山本圭 楠田薫 三戸部スエ 秋好光果 大塚道子 労演例会 会費 ¥550 於神戸国際会館

愛読者サロン

★転地療養を余儀なくされ、神戸市郊外の高原サナトリウムに没すること四年半。今秋漸くにしてその長かった闘病生活に訣別することができた。その間、家族から送り続けられた「神戸っ子」は、小生と、囲りにすむ同病者の孤独な心を暖かく慰め励ましてくれた。本当にそれは有難い存在であった。できるなら消毒薬の匂いに満ち、微熱の手から手に渡った「神戸っ子」全号を、小生の歴史の証とでも云えるわけだから自宅に持って帰りたかったが、許されず病院の庭の焼却炉により煙と灰に帰してしまった。だがそれで良かったのだと思う。今日夕暮の雑踏の書店で新しい号の「神戸っ子」を手にしたとき、末来への確信とでも云おうか、熱いものが胸のうちを走るのを覚えたから。

貴誌が毎月洗練され、生れ変るように、小生も明日への脱皮を必ず誓わなければならない。

〈兵庫区　教師　青山槙二〉

★「神戸っ子フレッシュマン」は、たいへんいい企画でしたね。それぞれに個性豊かな風貌を一人一人ずつ楽しく拝見しました。皆、さすがにいい顔をしていますね。今号では、巻頭の津高氏の詩がとても印象深いです。それから、コントの味わいのあるP35の「傘」面白かったですまた、特異なアングルの楽しめる沢山の写真員のいろいろも。編集室の皆さんのご自愛・ご健斗を祈っています。

（尼崎市・高橋由紀夫）

発行にいろいろとお世話いただいた方がた

安部朝比奈　正
青木岡田　長信
浅野上野（文）　重
有馬伊都（ト）子　信豊
荒井真吉（衛）　左門
砂川将正　成一郎
乾石榎牛岡（曽）根　一彦
井上榎牛崎　仁雄
石榎牛淵部　晃
石榎牛尾田　道平
青木並野　隆夫
荒木野　造
有浅木岡　忠
浅野上野　子
朝比奈部　一朗
安部正　雄
大小小小　小小小小
上後古阪　白雀坂
上後古阪　新
上後古阪　塩
上後古阪　砂
上後古阪　角
上後古阪　竹
上後古阪　津
上後古阪　玉
上後古阪　田
上後古阪　田
上後古阪　田
上後古阪　滝
上後古阪　滝
上後古阪　竹
小上　村
小上　宮
小上　川
小上　川
小上　中
小上　南
小上　田
小上　路
小上　谷
小上　川
小上　部
小上　口
小上　林
小上　藤
小上　林
小上　林
小上　泉
小上　林
小上　磯
小上　馬
小上　高
小上　井
小上　中
小上　中
小上　村
小上　宮
小上　川
小上　川
小上　中
小上　南
小上　田
小上　路
小上　谷
小上　川
小上　部
小上　口
小上　林
小上　藤
小上　林
小上　林
小上　泉
小上　林
小上　磯
良　準
芳　和
良　健
良　寛
良　孝
良　虎
良　勝
良　清
良　猛
良　重
良　義
良　秀
良　昌
良　干
良　喜
良　末
良　英
良　秀
良　徳
良　芳
良　良
平　之
平　一
平　之
平　助
平　一
平　操
平　郎
平　次
平　介
平　彦
平　二
平　一
平　郎
平　夫
平　民
平　孝
平　雄
平　渥
平　之
平　介
平　雄
平　勝
平　楽
平　二
平　一
平　雄
平　一
平　夫
平
神戸
神　行
神　山
神　若
神　百
神　村
神　宮
神　宮
神　松
神　福
神　深
神　原
神　畑
神　原
神　野
神　南
神　中
神　直
神　外
青　年
青　吉
青　口
青　杉
青　崎
青　上
青　地
青　崎
青　井
青　冨
青　水
青　口
青　沢
青　部
青　西
青　木
青　島
会　議
会　哉
会　泰
会　辰
会　正
会　裏
会　辰
会　高
会　芳
会　惣
会　泰
会　専
会　忠
会　幸
会　圭
会　太
会　健
所　女
所　弘
所　慧
所　雄
所　郎
所　二
所　雄
所　男
所　美
所　吉
所　良
所　郎
所　郎
所　郎
所　三
所　勝
所　郎
所　吉

編集後記

★神戸は広い。有馬も兵庫区なのである。山と海と町と、風景にバラエティのあるほどに、一つ火事が起り、大水が起ると、守備範囲もイヤというほどバラエティに富むのも神戸である。

十一月号の消防局機関誌「雪」のトップグラビヤを池の坊の大火の翌日に見て驚いた。有馬の火防神事がのっている。明治百年を記念して復活した享保の古儀が泉郷で復活されている写真。防火知識とどう結びつくのか!?という懸念が悪い方に現われてしまった。残念なことである。死者のご冥福を祈ります。

〈小泉康夫〉

★井上靖先生の楽しそうなお顔が忘れられない。戦後間もなくの詩人仲間である竹中郁、足立巻一両先生との語らいは、くったくがなく、暖かい。「何でも話しますよ」とおっしゃってくださるのには恐縮した。

★有馬の大火で、今この4階にいる編集室が燃えたらどうなるかとガヤガヤ。ビル族には、煙が一方からくれば窓しか逃道はない。子供の頃、敵機襲来といえば、防空頭巾にモンペをはいてすぐ防空壕へ走った。今の無防備体制では、敏捷な動きはとてもできっこない。しかし、平和なときにも、ゆだんは禁物、禁物。12月はことに火事の多い月。どうぞみなさまご注意を！

〈小泉美喜子〉

★この号で68年も終り。

例年のごとく、「この一年は……」何てことをしんみりと考えてみる。現実と夢？　克己!!

〈川端耿一〉

★だって、ただ知りたかったの。男の人って、みんなこんなの。でも、これで風邪をひかないのかしら。書かれた詩を朗読しても、音は活字で頭に入る。即興詩であっても、音を頭で概念化する。詩は、無駄口と、溜息と、あくびの凝集でしかないのではないか（岡本邦彦）

★人体の温度は三六・五度。気温が体温より十度高いと堪えきれない。逆に、二十度低くければ凌ぎよい。四十度低くても人は住める。そういえば先進国の平均気温は相対的に低いが何が言いたいんだ！（高田嘉彦）

神戸っ子ごあんない

★月刊神戸っ子を毎月お読みになりたい皆さま、また神戸を離れているお友達に、神戸の香りをおとどけになりたい方は、編集室あてにお申込み下さい。さっそくお送りいたします。

6カ月分　六五〇円
1年分　一三〇〇円（送料共）

◎月刊神戸っ子に紹介されている、神戸の銘店には、お客さまへのサービスとして神戸っ子がおかれています。

◎月刊神戸っ子をお買求めの時には左の本屋さんどうぞ。

コーベブックス　さんちかタウン
漢口堂三宮店　京町筋

流泉書房　センター街
文洋堂　新聞会館1階
日東館　大丸前
海文堂　元町通3丁目
宝文館　元町通5丁目
甲南堂　国鉄本山駅北口
宝盛館　阪神御影南側
小原光文堂　国鉄住吉駅北口
隆司書房　新開地本通り

◎月刊神戸っ子に広告を掲載して、お店を、また商品をご紹介なさりたい方は、月刊神戸っ子編集室へお申込みください。

◎神戸百店会の事務局も月刊神戸っ子編集室内にあります。

＊発行／昭和43年12月1日　神戸っ子NO・92
＊編集・発行／小泉康夫
＊発行所・神戸っ子編集室
神戸市葺合区八幡通5ノ96
K・Eビル4階
☎㉒7037　㉒8072
頒価・100円

BAR

Moon Light

KOBE IKUTASUJI TEL 〈33〉 0886

CLUB

KOTOBUKI

三宮本通り TEL〈33〉1875

CLUB

Moon Light

KOBE IKUTASUJI TEL 〈33〉 0157

CLUB 飛　鳥

生田区中山手通1丁目　TEL〈33〉7627

CLUB ぶーげん

生田新道 TEL〈33〉8593

Merry Christmas

Kobe Club & Bar

エキゾチックなみなと町
コウベのクリスマスの夜
は楽しいムードのお店で
ひとときを…

CLUB るふらん

生田区北長狭通1 TEL〈33〉2854

Merry Christmas

Kobe Club & Bar

今年も、気楽な神戸の町で、クリスマスの夜のひとときを……。

club なぎさ

生田区中山手通２丁目　ＴＥＬ〈33〉8626

club 蕗 〈ふき〉

生田区下山手通２　ＴＥＬ〈39〉1515

club 小万

神戸・三宮　ＴＥＬ〈39〉0638・4386

くらぶ 阿似子

生田区中山手通２丁目　ＴＥＬ〈33〉6069

club さ sachi ち

生田区中山手111　ＴＥＬ〈33〉7120

MADAM MARCEAUX

生田区北長狭通１丁目　ＴＥＬ〈33〉2019

PIZZA HOUSE

PINOCCHIO

生田区中山手２丁目電停浜側YMCA西〈33〉3545

YANAGASE

生田区山本通１丁目９,ＴＥＬ〈29〉8938

洋酒の店 **キャンティ**

ＴＥＬ　39－３０６０

213-KITANAGASA-DORI IKUTA-KU

洋酒倶楽部 **ＬＥＯ**

生田東門筋キクヤ電気ビル３Ｆ〈39〉4444

SNACKS & BAR

DOGA

三宮生田筋河南ビル　ＴＥＬ〈33〉4560

STAND **PEPE**

三宮・滝道　ＴＥＬ〈23〉３４０３

12月6日〈金〉◀・▶10日〈火〉粗品進呈

SNACK BAR マゼラン

生田区加納町4丁目　TEL 〈39〉236

STAND VIVA KITANO

神戸・生田・北野町3（いろりや上）
TEL 〈22〉2926

Christmas

CLUB
シルバームーン

生田神社東側　TEL 〈33〉8933

STAND ロイ

三宮生田筋新河南ビル2F・TEL 〈33〉5084

Tajima
タジマ

TEL ㉝ 0387・2552

クリスマスパーティは
オリエンタルホテルで

六甲クリスマス・パーティ
12月21日　P.M5.30～
於　六甲オリエンタルホテル
DANCE & DINNER
音楽　真理ヨシコ・高田浩平
　　真木利一ピアノカルテット
会員券¥10,000（2名様　1泊　税込）
　　¥3,000（1名様　宿泊ナシ）
クリスマスディナー　おたのしみ抽籤付

クリスマス・パーティ
12月23日　P.M5.30～
於　オリエンタルホテル
クリスマス・ディナー、クリスマス・キャロル
歌　デュークエイセス・真理ヨシコ・木月京子
　真木利一ピアノカルテット
奇術　ゼンジー中村他
会員券¥5,000(税、サービス料込)
おたのしみ抽籤（全日空で宮崎ご招待／サンヨーカラーテレビ／他豪華景品）

お子様クリスマス
12月22日　正午より
於　オリエンタルホテル大宴会場他
お食事、人形劇、うた、おみやげ
うたのおねえさん　真理ヨシコ
ピアノ　真木　利一
会費　お子様¥1,000　大人¥2,500

クリスマスイヴ・パーティ
12月24日
於　スカイレストラン
クリスマス・ディナー
音楽　高田浩平・木月京子
　真木利一ピアノカルテット
会員券¥5,000　（税、サービス料込）

神戸オリエンタルホテル　(33) 8111

六甲オリエンタルホテル　(89) 0333

ポートレック

★カクテルドレス★★★★★

福富芳美〈明石女子短大学長・神戸ドレメ院長〉

12月

北野町の坂をのぼりつめると港のみえるレストランにつきます。冬の陽に光る海、港の船たち、横に広がる街々。窓からのぞむ風景は、神戸っ子の自慢の一つ。

今月は、クリスマスの夜に開かれるパーティに、若いお嬢さんのカクテルドレスをご紹介しましょう。

左のほうは、ボンネルの濃いストロベリーピンクのラッセルレース。

右はエメラルドグリーンのウールジョーゼット。どちらもボニールックの感覚をシルエットの中にとりいれたものです。

ローウエストの切りかえに、左は共布のジルコンのバックルで飾ってあるのがポイント。

右は3段のフレアーフリルに、甘い栗色のサテンリボンでベルトをつけた華やかなデザインです。

12月のマドモアゼルは、**花輪信子**さん(22)左と、**小松きく枝**さん。

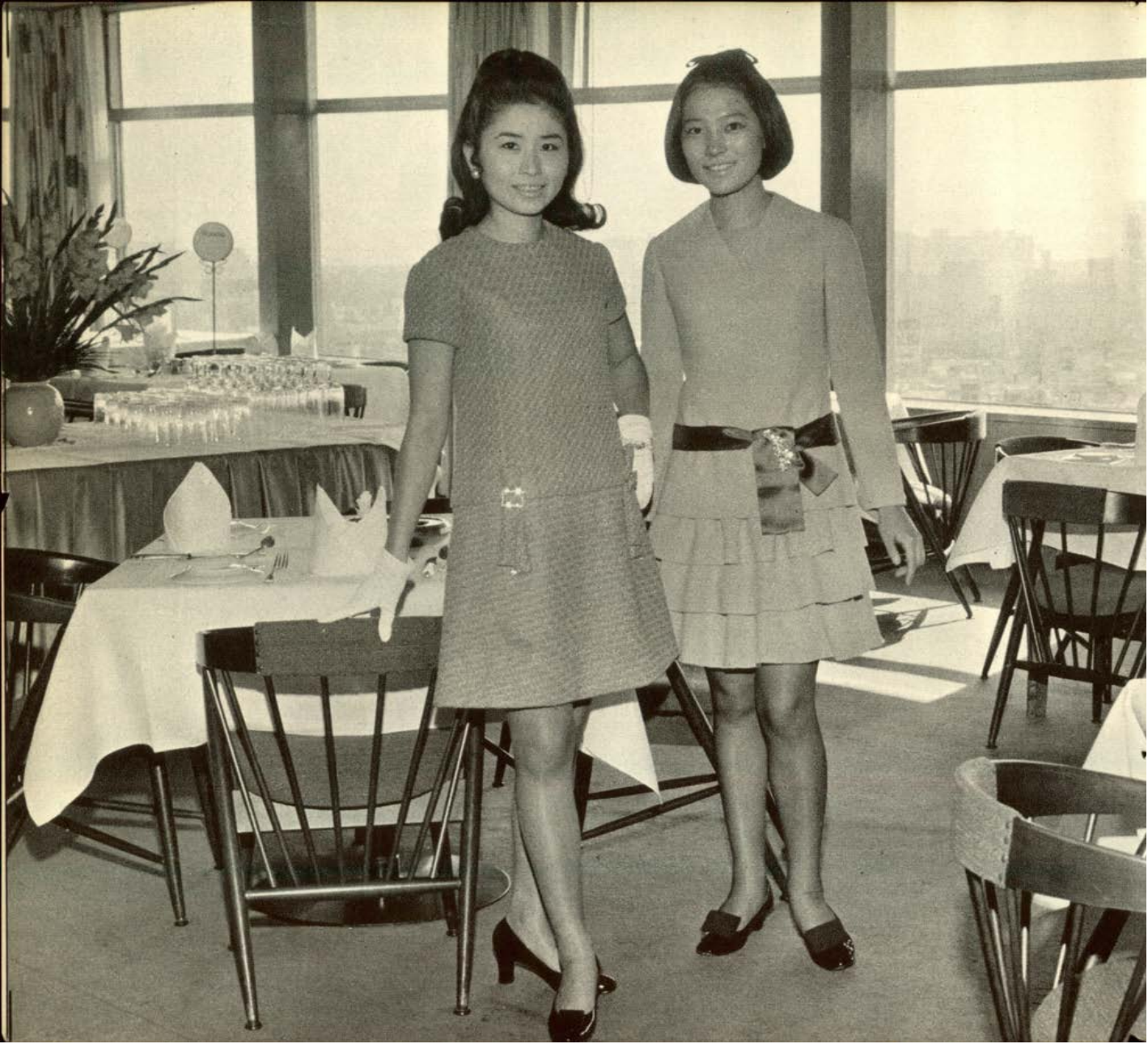
花輪さんは、68年度のミス神戸。山手短大卒後、お父さんのお店である元町のハナワグリルでお手伝いをしながら、三ツの時から鍛えた邦舞のお稽古が楽しみというお嬢さん。花柳芳五郎師門下で花柳祥の名取り名がある。茶道、華道、習字と日本趣味だが、「ウエスタンは最高よ」と答える現代っ娘だ。

小松さんは、神戸ドレスメーカー女学院から、研究所のクチュール神戸で三年という縫製師。

「こったデザインを仕上げたときはとても嬉しい」と、仕事の楽しさを話す清純なお嬢さん。

趣味は手芸に洋画観賞。カトリーヌドヌーブがごひいき。

●コラルキタノにて



オフィス・レディの悟味酒訪問〈14〉

一日のお勤めを終えてつっつく悟味酒のテッチリのおいしさはバツグンです。ことに冬は鍋ものに限りますね。

左**鈴木恭子さん**　右**水野輝子さん**
<富士ゼロックス神戸営業所勤務>

冬は鍋ものに限るわ！

お茶漬・おむすび・鍋もの
悟味酒
阪急西口〈33〉3848

鍋もの炉ばた
悟味酒
阪急西口〈33〉3848
〈2階〉

お茶漬・おむすび・鍋もの
ふる里
生田前筋〈33〉5535

さんちかタウン **悟味酒ちゃんこ場** ／味ののれん街　TEL. 神戸（39）5319

夜の神戸のあかりは、山から海につながる。ドライブ・ウエイのほそい光の線は、山を匍いおりて、ひろい光のたまりにそそぎこみ、さらに港に停泊している船舶のあかりに跨がる。それは黒い海に点々と散らばり、はるか淡路や紀州のあかりに縁どられる。あかりは人間の営みの象徴なのだ。しずかな夜景に、われわれはコウベの息吹きを、いっそう身近かにかんじる。「静」のなかに、逞しい「動」がひそむ。

★文・陳　舜臣　写真・緒方しげを★

こうべろまん

〈12〉

夜の三宮

あかりの洪水の隅に、夜はひえびえとし、火のうえに手をかざし、サザエの壺焼きでからだをぬくめる。ここでは、ささやかな光が体温とまじり合い、生活のにおいをただよわせ、ゆらめくタバコの煙に、ひるまの労働の余韻さえこもる。どのまちにもみられる町かどのシーンだが、ときにはうらぶれ、ときには活気に満ちてみえる。コウベはこのリズムにのって逞しく生きてうごき、人びとはわがまちをひとしお、いとおしく思うのだ。

雨に濡れた歩道にあかりがうつる。たしか、かってコウベのシンボルであった風景である。ほとんどの商店街がアーケードをかぶった現在、町のきれ目の道だけが、つつましく光の影をうつす。「溝に春がみなぎる」と、むかしの詩人はうたったが、いまコウベのまちの歩道にうつる光に、われわれはもはや春と秋を区別できない。花屋の店頭が季節を知らぬ温室の花で飾られる時代だ。追いつめられてわれらロマンの徒は残党化しつつある。ああ。

No.10
サンサカエ・ゴルフコーナー

気もそぞろの記念撮影

病院長の集い
—三水会—

写真・前列右から
戸山祥三〈昭生病院〉
野村一高〈野村病院〉
三木　徹〈丸山病院〉
後列右から
米沢典之〈新須磨病院〉
薄木正敏〈うすき病院〉
吉田早苗〈吉田外科病院〉

今日の若きゴルファーは、神戸在住の病院長の集いだ。会長がいなく、コンペに会食にと親交を深める三水会。プレイを控えて、気もそぞろの記念撮影。

マックグレガー　ラコステ　マンシングウェアー　ダンロップ

men's apparel
サン・サカエ
神戸元町 2
TEL〈33〉-7885

冬を暖かくする
★マックグレガー
暖かく色のきれいなボア付きコート。防水加工で雨の日も、ゴルフの行き帰りにも最適。
¥5,900.－から
★ブリンゲル
イギリスから直輸入のニットVセーター。抜群の色あいで、この冬を楽しんで下さい。
¥8,000.－から

神戸百店会

Kobe High Class Shop Group

＊宝飾品 Jewel・Pearls

① 宝飾 御木本真珠店 Mikimoto Pearls — 国際会館1階 ☎0006 International House

② 宝飾 田崎真珠店 Tasaki Pearls — 新聞会館秀品店 ☎5646 Kobe Shinbun

③ 宝飾 北村真珠店 Kitamura Pearls — 元町通二丁目 ☎0027 2-motomachi

④ 宝飾 タジマ Tajima Jewel — 元町通二丁目 ☎0387 2-motomachi

⑤ 時計と宝石 美田時計店 Mita Watch Shop — 元町通三丁目 ☎1798 3-motomachi

⑥ 宝飾 神戸宝石 Kobe Jewel — トアロード ☎2397 Tor Road

⑯ 真珠・毛皮 帽来婦人服飾 ムラタ Pearl Fur & Ladies' — さんちかタウン ☎3868 山本通4 ☎1212-6

＊紳士洋服・洋品 Tailor & Men's Shop

⑦ 紳士服 柴田音吉洋服店 Tailor Sibata — 元町通四丁目 ☎0693 4-motomachi

⑧ ネクタイ 元町バザー Motomachi Bazaar — 元町通一丁目 ☎1401 1-motomachi

⑨ 紳士服 三恵洋服店 Tailor Mituei — 元町通四丁目 ☎7290 4-motomachi

⑫ 男子洋品 フナキヤ Funakiya — 元町通三丁目 ☎3617 3-motomachi

⑬ 紳士服 十字屋洋服店 Tailor Jujiya — 元町通五丁目 ☎2983 5-motomachi

⑭ 洋品雑貨 サノヘ Sanohe — 元町通二丁目 ☎4707 2-motomachi

⑮ ワイシャツ 神戸シャツ Kobe Shirt — 大丸前 ☎2168 In front of Daimaru

⑰ 紳士服 洋服の粋渡辺 Watanabe — センター街 ☎1650 Center-Gai

⑱ 衣生活品 ニッケショールーム Nikke Showroom — 元町通二丁目 ☎0901 3-motomachi

⑲ 紳士服 神戸テーラー Kobe Tailor — 阪急西口・西 ☎2817 Hankyu west Exit

⑳ 若人の服飾 マック Mac Men's Shop — 三宮本店・トアロード店 新開地店・姫路店 Center-Gai・京都店

㉑ 紳士服飾 ウネ Men's Shop Une — 元町通 (33) 2677 1-motomachi

㉒ 紳士シャツ 大和屋のシャツ Yamatoya Shirt — センター街 ☎6955 Center-Gai

＊婦人洋装・洋品 Ladie's Shop

㉔ 帽子 マキシン Maxim — トアロード ☎6711 Tor Road

㉕ 服飾雑貨 エスターニュートン Esther Newton — トアロード ☎1818 Tor Road

㉖ 洋品 スギヤ Sugiya — トアロード ☎3436 Tor Road

㉗ ハンドバック ベビー用品 子供服 シラサ フアミリア Shirasa Familiar — 元町通一丁目 ☎0813 2-motomachi — 元町1丁目 ☎5555 トア・ロードセンター街角

㉘ 洋傘 ショール オカダ Okada — 元町通三丁目 ☎0051 3-motomachi

㉚ 洋装 マスヤ Masuya — センター街・元町三 ☎2781 3-motomachi

㉙ 婦人服飾 ベニヤ Beniya — センター街・さんちかタウン ☎5528～9・☎1204

㉛ 輸入服地 マルゼン Maruzen — 三宮一丁目53 (生田前筋) ☎6901 Ikuta Street

㉝ 婦人・紳士服 セリザワ Serizawa — センター街・大丸前 ☎462 Center-Gai

㊲ 毛皮 ベニー毛皮店 Bennie Furrier(Furs) — 国際会館一階 ☎3327 Kobe International House

＊装身具・服飾品 Accessary・Dress

㊲ べっ甲 太田べっ甲 Ota Co. (Tortoise-shell ware) — 元町通一丁目 ☎6195 1-motomachi

㊳ ハンドバック アクセサリー イクシマヤ Ikushimaya — 元町通一丁目 ☎2415 1-motomachi

㊴ アクセサリー 芸夢 Geimu — トアロード ☎2293 Tor Road

㊵ 婦人・紳士靴 高級輸来雑貨 クロス靴店 Cross Shoes — トアロード ☎1781 (代) Tor Road

㊶ 婦人・紳士靴 ヨシオカ Yoshioka Shoes — 大丸前 ☎5190 In front of Daimaru

＊和装 Kimono. Geta

㊶ 呉服 ちんがら屋 Chingaraya — センター街 ☎8836 Center-Gai

㊷ 呉服 みよしや Miyosiya — 大丸前 ☎3388 In front of Daimaru

㊺ 衣裳 中川衣裳店 Nakagawa — センター街 ☎7524・5855 Center-Gai

㊻ 衣裳 つるや衣裳店 Turuya — 大丸前 ☎0360 In front of Daimaru

＊美容 Beauty Shop

㊼ 美容 ブルーあきら ローズあきら — 北野町3 (22) 9080 三宮本通り (33) 4461

㊾ 美容 美容室エリザベス Elizabeth Beauty Shop — 本店・生田筋 ☎8894 営業所 ☎4917

＊美術・工芸品 Art

㊱ 美術 元町画廊・若木屋 Motomachi Gallery — 元町通一丁目 ☎1359 1-motomachi

㊷ 画材・額縁 末積製額 Suezumi — トアロード ☎1309 Tor Road

㊸ 工芸 アクセサリー 磯川工芸店 Isokawa — トアロード ☎3398 Tor Road

㊹ 美術陶磁器 淡洲堂 Tanshudo — センター街 ☎1707 Center-Gai

㊺ 新古美術 播新 Harishin — 元町通三丁目 ☎2516 3-motomachi

＊家具 家庭・文化用品 Furniture・Family

㊼ 家具 永田良介商店 Nagata Ryosuke Shop — 大丸前 ☎3737～9 In front of Daimaru

㊽ 玩具 カメヤ Kameya Toy Store — 元町通三丁目 ☎4959・0090 Center-Gai 3-motomachi

㊾ メガネ 神戸眼鏡院 The Kobe Optical Co., Ltd — 元町通三丁目 ☎1231 3-motomachi

㊿ カメラ コヤマカメラ Koyama Camera Shop — センター街 ☎0158 Center-Gai

(51) 儀式用品 扇子 富田屋 Tomitaya — 元町通四丁目 ☎7533 3-motomachi

(54) カバン 大上鞄店 Que Trunk Co. — 元町通三丁目 ☎3962 1-motomachi

(55) ゴルフ用品 バッグ・鞄 タカハシ GOLF & BAG TAKAHASHI — 元町通三丁目 ☎1172 3-motomachi

(57) 電器製品 元町家庭電器販売KK Motomachi Electric Co., Ltd. — 元町通六丁目 ☎0081 代 6-motomachi

(58) 薬品 三星堂薬局 Sanseido Pharmacy — 元町通六丁目 ☎0330・3355 6-motomachi

(65) メガネ 服部メガネ店 Hattori Optical Shop — 大丸前 ☎1123 In front of Daimaru トア・ロード採田店 ☎1871 ☎2251－3 Tor-Road

(59) 結納儀式用品 遠藤福寿堂 Endo-Fukujudo

＊ボーリング Bowling

(48) ボーリング 神戸スターレーン Kobe Starlane — 市役所西側 ☎4165 West City Hall

＊菓子・喫茶 Cake・Tea-room

(69) 和洋菓子 喫茶 風月堂 Fugetsudo — 元町通三丁目 ☎2412～5 3-motomachi

(70) 瓦煎餅 亀井堂本家 Kameido Honke — トアロード ☎1616・0001 Tor Road

(71) 菓子 雁治郎飴本舗 Ganjiroame-Honpo — 多聞通神公前 ☎1242 Tamon-Dori

(73) 洋菓子 喫茶 ドンク Donq — センター街 ☎5481～3 Center-Gai

(74) チョコレート モロゾフ Morozoff — 元町通二丁目 ☎3855 2-motomachi

(75) ドイツ菓子 喫茶 ユーハイム Juchheim's — 生田神社前 ☎1961 Ikuta Jinja Mae

(76) 洋菓子 ヒロタ Hirota Confectionery — 元町通三丁目 ☎2340 3-motomachi

(77) 洋菓子 ユーハイムコンフェクト — 三宮センター街 ☎2421 Center Gai

(78) 和菓子 二つ茶屋 Futatsuchaya — 元町通一丁目 ☎0755 3-motomachi

(79) 菓子 本高砂屋 Hon-Takasagoya — 元町通三丁目 ☎7367 3-motomachi

(81) カステーラ 長崎堂本店 Nagasakido — 元町通六丁目 ☎4130 6-motomachi

(109) 瓦煎餅 亀井堂総本店 Kameido Sohonten — 元町通六丁目 ☎0011～6 6-motomachi

(110) 瓦煎餅 河南堂 Kanando — 三宮駅山側 ☎1061～3 St. Sannomiya-north

(46) チョコレート コスモポリタン Cosmopolitan — 三宮京町筋 ☎1219 Kyomachi Street

(111) 瓦煎餅 菊水総本店 Kikusui Sohonten — 神会社正門前角 ☎1601 代表 In front of Nanko

(84) 喫茶 UCウエシマコーヒショップ — ☎5677

(53) 洋菓子 アルモンド Almond — 元町通一丁目 ☎2203 2-motomachi

(80) チョコレート キャンディ コンチャロフ Goncharoff — さんちかタウン ☎3563

(72) 和洋菓子 パーラー・レストラン 寿本舗 Kotobuki Honpo — 阪急三宮西口 ☎986681 元町2丁目 ☎331136

＊和洋料理 Eating House

(85) 鰻・日本料理 竹葉亭 Chikuyotei — 阪急三宮 ☎3120 Sannomiya Hankyu

(56) 天婦羅 お可川 Okagawa — 元町通三丁目 ☎6151 3-motomachi

(87) ふぐ料理 たい料理 一富士 Ichifuji — 湊川トンネル東 ☎525566 Minatogawa

(88) 寿司 本成駒家 Hon-Narikomaya — 三宮本通り ☎3355 Sannomiya hondori

(89) とんかつ 武蔵 Musasi — センター街 ☎3771 Center-Gai

(90) スペイン料理 カルメン Carmen — 阪急西口 ☎3222 Hankyu west Exit

(91) 欧風料理 ハナワグリル Hanawa Grill — 元町通五丁目 ☎6946 3-motomachi

(92) ビヤ・ホール ニュー・トーキョー New Tokyo — 生田柳筋 ☎1422 Ikuta Yanagi Street

(93) 海川魚御料理 時雨茶屋 Shigure Jaya — 元町3丁目 ☎0070・☎1060 3-motomachi

(94) 軽料理 蛸の壺 Takonotsubo — 大丸前日東館北 ☎1033 1-motomachi

(95) レストラン コラルキタノ Coral Kitano — 北野クラブ前 ☎2251 1-Kitano-Cho

(116) レストラン ブランドゥブラン Blanc de Blanc — 京町7－15 ☎7451 77－1 Kyomachi

(96) ふぐ 天ぷら・寿司 栄弥 Sakaeya — 大丸前・三宮神社東 ☎5572・5674 2-Sannomiya

(97) 寿司 又平 Matahei — 生田神社前 ☎0935 Ikuta Street

(98) 神戸肉 太井肉店 Ooi Beef Shop — 元町7(西元町駅前通) ☎1011 (代) 7-motomachi

＊クラブ・料亭 Night Club

(34) 料亭 松乃家 Matsu no ya — 花隈 ☎2785・6788 Hanakuma

(35) ナイトクラブ 北野クラブ The Kitano Club — 北野町 ☎2251 Kitano-Cho

(100) クラブ くらぶ花くま Club Hanakuma — 花隈 ☎5129 Hanakuma

＊ホテル Hotel

(101) ホテル 神戸オリエンタルホテル Oriental Hotel — 京町 ☎1125 25-Kyomachi

(102) ホテル 六甲オリエンタルホテル Hotel Rokko Oriental — 六甲・山4 ☎0334 Mt. Rokko

(104) 観光旅館 有馬温泉(東有馬)古泉閣 Kosenkaku — 神戸 ☎90073 Arima

＊商社 Trading House

(105) ビール 朝日麦酒K.K Asahi Beer — 相生町 ☎7301 Aioi-Cho

(106) 電化製品 ナショナル電化センター National Electric Center — 京町筋 ☎3801 Kyomachi-Suji

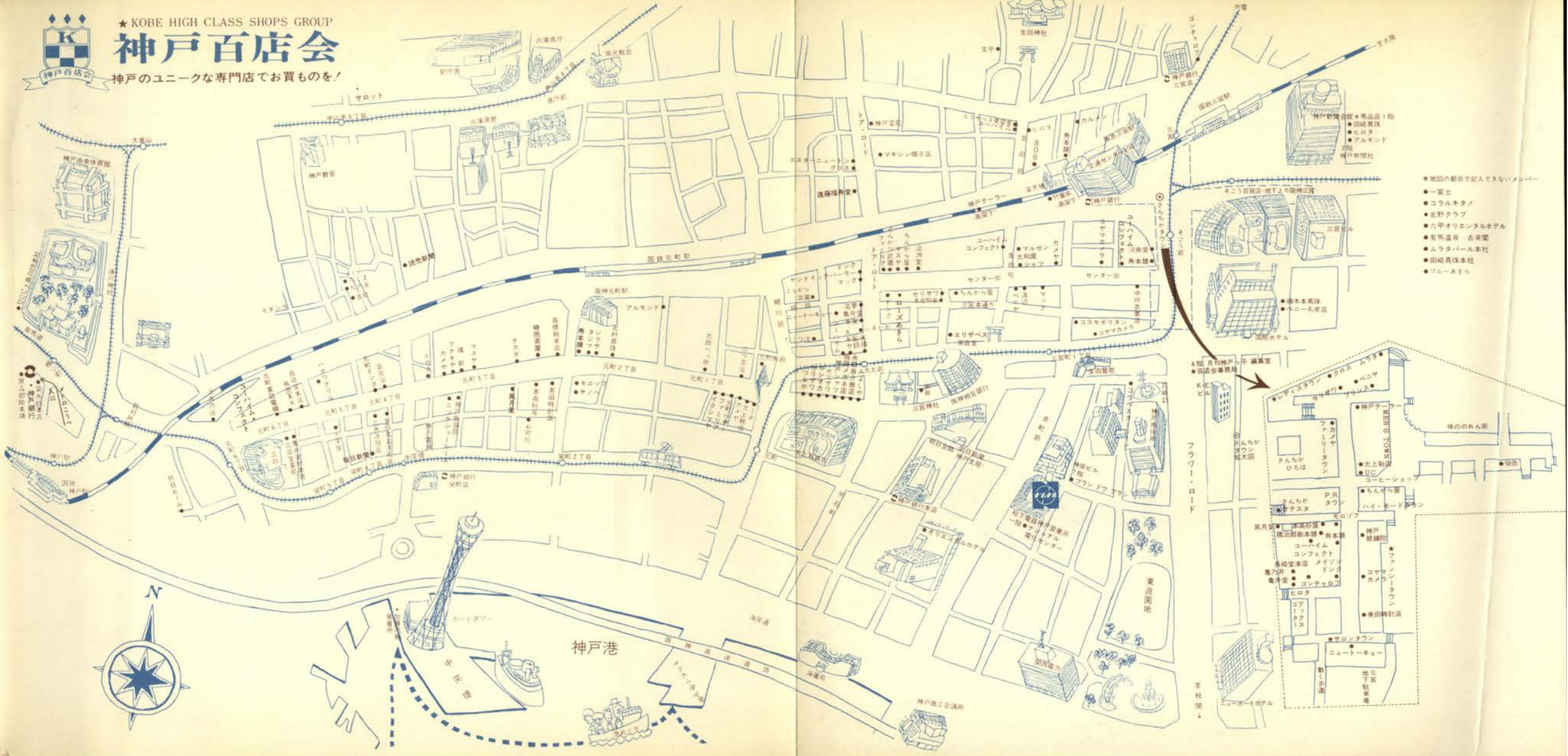
(107) 銀行 神戸銀行 Bank of Kobe — 本店・生田筋海岸町 ☎8101 代表 Naniwa-Cho

(108) 珈琲・紅茶直輸入 UCC上島珈琲本社 — 神戸駅前 ☎3600

★KOBE HIGH CLASS SHOPS GROUP

神戸百店会

神戸のユニークな専門店でお買ものを！



＊地図の都合で記入できないメンバー

- 一富士
- コラルキタノ
- 北野クラブ
- 六甲オリエンタルホテル
- 有馬温泉 一古泉閣
- ムラタパール本社
- 田崎真珠本社
- ブルーあさら

交通戦争時代の貯蓄はコレ!《こうべ》の交通安全定期

貯めながら10倍の働き

●ご預金額は2.5万円から100万円まで21種類
●最高1,000万円の頼もしい備え
●会費はお利息から何年間でも自動的に払込まれ、お手間がかかりません

●交通事故傷害保険がセットされた新しい定期預金が登場!《こうべ》の交通事故対策を兼ねた一石二鳥の《こうべ》の交通安全定期で交通激化時代にも安心な生活プランをどうぞ——

東宝／内藤洋子

神戸銀行

詳しくは《こうべ》の窓口へどうぞ

昭和四十年一月二十日　発行所／神戸市葺合区八幡通五丁目九六（市役所前）K・Eビル四階　TEL㉒七〇三七　頒価一〇〇円
第三種郵便物認可　昭和四十三年十二月一日発行毎月一回　大日本印刷株式会社印刷　編集発行／小泉康夫（送料12円）

ナショナル 松下電器

“だんらん”も
カラフルにする…
この新機構が
高性能が
ナショナル50年の
成果を誇ります

19形・TK-1100D
《カラー・デラックス》
現金正価　189,000円
月賦定価(15回)207,000円

カラー調整3秒
タネをあかせば…マジックライン
（特許出願中）

画面の中にパットあらわれる…緑の帯

ツマミを軽く押す。画面の中にサッと緑の帯があらわれる。この帯を細く細くしてください。いちばん細くなった時が、ベストの電波をうけているサインです。

●反射光にジヤマされない画面〈ノングレア〉ブラウン管電灯の光、太陽光などムダな光の侵入をふさぎます。

ナショナルカラーテレビ パナカラー

●あらゆる電化製品のコンサルタント——神戸ナショナル電化センター　神戸市生田区京町78　TEL神戸(39)8210